



≪[親機]・[子機]・グループについて≫

○[親機]・[子機]について

デー太郎ランプには[親機]・[子機]の設定が存在します。

基本的には下図のように角台に1台[親機 1]、残り全てが[子機 1]に設定されています。

親機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 1
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

データ表示内容やイルミネーション等の設定に関して、[子機 1]は[親機 1]の設定に従います。
[親機 1]でそれらの設定を変更すれば1列すべて同じ設定が反映されます。

○グループについて

[親機]・[子機]は同列内に3グループまで設定できます。

グループ 1 : [親機 1]、[子機 1]

グループ 2 : [親機 2]、[子機 2]

グループ 3 : [親機 3]、[子機 3]

列内で設定内容を分けたい場合に、下図のようにグループ分けをします。

親機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 1	子機 2	子機 2	子機 2	子機 2	親機 2
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

これで[親機 1]で設定変更すれば[子機 1]にのみ設定が反映し、

[親機 2]で設定変更すれば[子機 2]にのみ設定が反映するようになります。

≪[親機]・[子機]・グループの設定方法≫

- ① 【機能】を押すと機能画面に変わる
- ② [親機]、[子機]、グループの変更をする
 - ・【特殊】 + 【1】 or 【2】 or 【3】 の同時押しでグループの変更ができる
 - ・ [子機]に対して【特殊】 + 【5】 の同時押しで[親機]になる
 - ・ [親機]に対して【特殊】 + 【5】 の同時押しで[子機]になる
- ③ 【機能】を押すと通常画面に戻る

注 1) [親機 1]は1列に1台のみ、必ず島端に設定してください。

[親機 2]、[親機 3]も同列内に1台のみ、どこに設定しても構いません。

注 2) 送っ太郎NET/PCと接続している場合、

[親機 1]は島コン側/島通信配線接続側でないといけません。

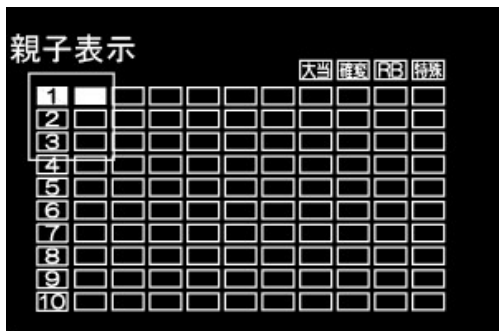


《[親機]・[子機]・グループの確認方法》

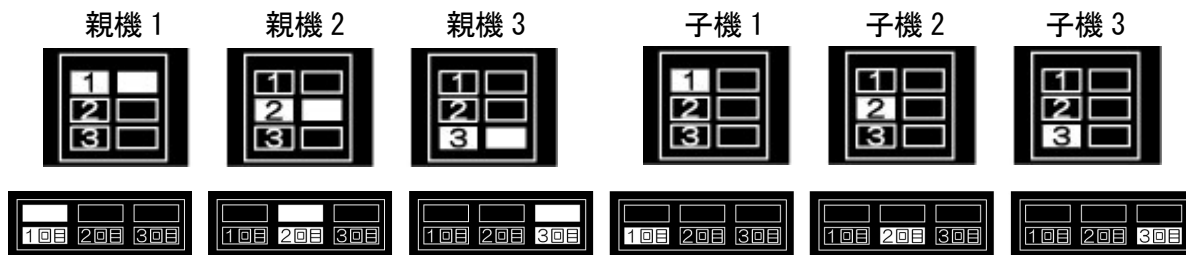
機能画面に変えると[親機]・[子機]・グループの確認ができます。

セグタイプでは履歴グラフに、液晶タイプでは液晶に、下図のように表示されます。

横履歴グラフ



縦履歴グラフ



● 透信 (232)	● リモコン3時間	● アウト (セーブ)	● 入力1	● タッチ1	● タッチ9
● 透信 (485)	● 10時間稼働	● イン (アウト)	● 入力2	● タッチ2	● タッチ10
● 透信 (内部)	● 3時間稼働	● CT (スタート)	● 入力3	● タッチ3	● タッチ11
● 各台計装 (表)	● 本日稼働	● RB (設定)	● 入力4	● タッチ4	● タッチ12
● 各台計装 (裏)	● 異機番号	● BS (大当)	● 出力1	● タッチ5	
● ファイアーロック			● 出力2	● タッチ6	
● 不正代表出力			● 出力3	● タッチ7	
● 大当代表出力			● 出力4	● タッチ8	

リモコンで機能番号と値を入れてください。
通常画面に戻るにはリモコンの機能ボタンを押してください。

親子表示部

機能番号	値	TYPE S	親機 1
0000	0	位置番号:	0
		台番号:	10
		LCD Ver.	0115
		HW-L.	1
		MAIN Ver.	0115
		HW-M.	1

≪グループ分け設定手順例≫

○Aタイプ、Aタイプが混在する列で、AタイプはBB・RBの合計回数を表示したい

AT	AT	AT	AT	A	A	A	A	AT	AT
親機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1

- ① Aタイプの台を[子機1]から[子機2]に変更します。

AT	AT	AT	AT	A	A	A	A	AT	AT
親機1	子機1	子機1	子機1	子機2	子機2	子機2	子機2	子機1	子機1

- ② [子機2]に変更した台の中で1台[親機2]に変更します。

AT	AT	AT	AT	A	A	A	A	AT	AT
親機1	子機1	子機1	子機1	親機2	子機2	子機2	子機2	子機1	子機1

- ③ [親機2]でBB・RB合計回数を表示する設定を変更します。

※必ずグループを変更してから、[子機]を[親機]にしてください。

先に[親機]に変更してしまうと、

同列内に[親機1]が2台できてしまい、通信障害が起きます。

≪その後、Aタイプ全てをATタイプに台入替した場合≫

AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT
親機1	子機1	子機1	子機1	親機2	子機2	子機2	子機2	子機1	子機1

- ① [親機2]を[子機2]に変更します。

AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT
親機1	子機1	子機1	子機1	子機2	子機2	子機2	子機2	子機1	子機1

- ② [子機2]を[子機1]に変更します。

AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT	AT
親機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1	子機1

[子機1]に変更すると、[親機1]の設定が流れてきて設定が統一されます。

※必ず[親機]を[子機]に変更してから、グループ1に変更してください。

先にグループ1に変更してしまうと、

同列内に[親機1]が2台できてしまい、通信障害が起きます。